

EKD752

# バレー支柱 11



※SG基準品

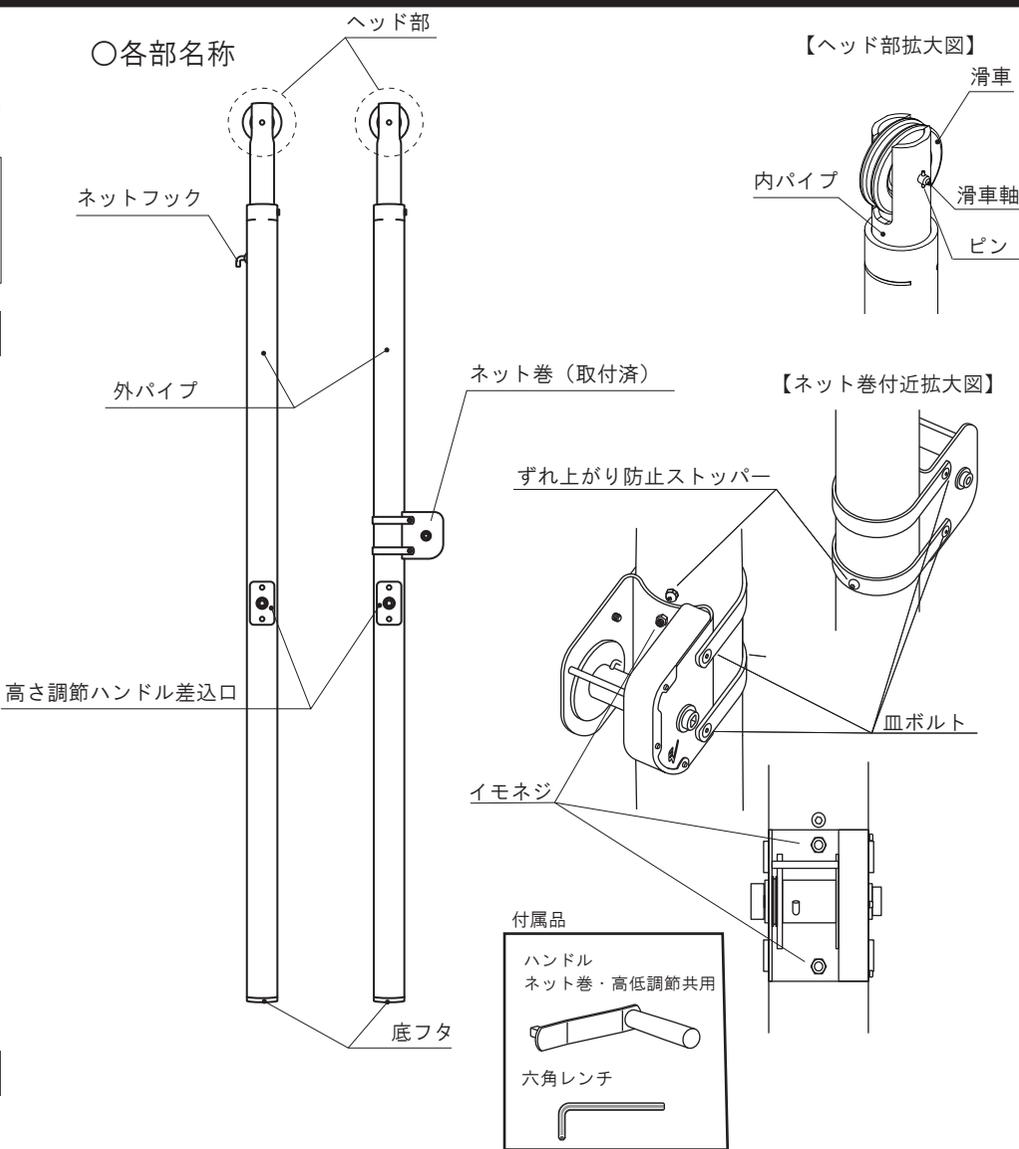
この度は本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。間違った取り扱いや不適切な取扱いは、重大な事故につながる恐れがあります。管理責任者を定め、お読みになった本取扱説明書は管理責任者が必ず保管し、必要なときにお読みください。

## △ 使用上のご注意

- 本製品は屋内用のバレーボール競技用ネット支柱です。本来の目的以外には絶対に使用しないでください。
- 児童・生徒等に使用させる場合は、管理責任者（先生・指導者）の適切な指導のもとでご使用ください。
- 使用前にずれ上がり防止ストッパーが破損していないか、しっかりと装着されているか確認してください。
- 使用前にネット巻のガタツキがないかを点検してください。ガタツキがあった場合は、取付バンドの皿ボルトとずれ上がり防止ストッパー、ドラム側のナットとイモネジをバンド側のずれ上がり防止ストッパーの位置に合わせてしっかりと付属の六角レンチを使って増し締めしてください。緩んだまま使用しますとネット巻が急にずれ上がり、けがをすする恐れがあります。
- 滑車軸の両サイドにあるピンがしっかりとハマっているか、滑車がスムーズに回るか確認してください。異状があった場合は、購入先または弊社へ連絡し修理又は交換等の適切な処置を行ってください。
- 重量が重いので、2人以上で運搬・設置してください。また、扉や壁に当たらないように周囲の安全を確認してください。
- ネット巻き取り時にカチカチと音が出てハンドルが止まることを確認してください。
- ご使用の際は安全のため、バレー支柱緩衝マットを別途用意し装着してご使用ください。
- 使用後、ネットを張った状態で放置しないでください。支柱が曲がり元に戻らなくなることがあります。
- 支柱の高さを下げるときは、指等を挟まないよう十分ご注意ください。
- 支柱を抜いた後はけがの予防、異物混入を避けるため、埋設管（埋筒）には必ず上蓋を被せてください。
- ネットを張った状態での高さ調節は、器具の故障の原因となりますので絶対におやめください。
- ネットを張った状態でワイヤー（ロープ）やネットにぶら下がったりしないでください。
- ネットを張る際は、使用するネット・ワイヤー（ロープ）の点検を必ず行ってからご使用ください。ワイヤー（ロープ）にほつれや異状があった場合は使用を中止してください。
- ワイヤー（ロープ）が正しくセットされているか確認し、滑車溝の中心がワイヤー（ロープ）と一直線になるように合わせてから、ネット巻を操作してネットを適切な張り具合で張ってください。巻き取り中に支柱が著しく傾いたり変形してきた場合や、ワイヤー（ロープ）が切れ始めたときは直ちに巻き取りを中止し管理責任者に報告してください。
- 事故防止のため、ハンドル操作中は顔を支柱、ネット巻に絶対近づけないでください。
- ハンドル操作は片手を限度とし、足や補助具を添えた操作は絶対にしないでください。
- 乱暴な取扱いはけがを伴う恐れがあり、危険ですのでおやめください。

## △ 保管上のご注意

- 移動する時以外は、支柱用ラックに保管してください。
- 湿気の多い所や直射日光のあたる場所、ほこりの多い所には保管しないでください。変色・破損の原因になります。
- 熱源や火気の近くには保管しないでください。変質・変形・破損等の原因になります。
- 本体が汚れた場合は乾いた布等で拭いてください。本体の汚れがひどいときは台所用中性洗剤を薄めた溶液を、柔らかい布に染み込ませてよく絞り、軽く拭きそのあとに乾拭きしてください。
- 塗装部に剥れ・サビがあれば早期に油性ペイントで補修してください。
- 揮発性溶剤（ベンジン・シンナー・ガソリン等）の使用はおやめください。
- 支柱の内パイプを伸ばしたままでの保管はおやめください。必ず最低の高さにした状態で支柱ラックに保管してください。また、支柱本体に重いものを載せたり、立て掛けての保管は危険ですのでおやめください。
- 定期的にも取扱説明書と同封されている安全点検表に基づき、点検を行ってください。異状が確認された場合は直ちに使用を中止し、購入先または弊社へ連絡し、修理または交換等の適切な処置を行ってください。
- 本製品は使用上の経過で、変色・変質・劣化・破損等することがございます。
- 標準耐用年数は、高さ調節器具は3年、支柱・滑車・滑車軸・ネット巻は2年ですが、使用状況使用環境で異なります。標準耐用年数は『スポーツ器具の正しい使い方と安全点検の手引き：（公財）日本体育施設協会』から引用しています。



発売元： **株式会社 エバニュー**  
 お気付きの点並びにご不明な点は、購入先または弊社へお問い合わせください。

〒136-0075 東京都江東区新砂 1-6-35 JMF ビル東陽町 02 6F

○お問い合わせ先  
 東京 TEL. 03-3649-6236 FAX. 03-5683-5946  
 大阪 TEL. 06-6762-2431 FAX. 06-6762-2425  
 e-mail: a-f@evernew.co.jp

※無断転載禁止  
 ※本書のイラストや図は、実際の商品と異なる場合があります。  
 ※製品の改良等によって、本書の内容の一部、製品と合致しない箇所が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

## ○使用方法

△ 持ち運びや設置の際は、2人以上の十分保持できる人数で周囲の安全を確かめて行ってください。

1. 埋設管(埋筒)の上蓋を外して中に異物がないかを確認してください。設置する際は埋設管付近で一度立たせてから落下させないようにゆっくりと挿入してください。この際、指などを挟まないよう支柱の突起物に十分ご注意ください。

2. ハンドルの先を高さ調節ハンドル差込口に入れ、両支柱の高さ設定を行ってください。【図1】参照

⚠ 高さ 243 cm を超えて操作しないでください。昇降装置の故障原因となります。

3. ネット巻の付いていない支柱の滑車にワイヤー(ロープ)を掛けて、ワイヤー(ロープ)端部(輪っか加工)をネットフックに掛けます。次にネット巻の付いている支柱の滑車にワイヤー(ロープ)を掛けて、ワイヤー(ロープ)端部をネット巻のドラムフックに巻きつけてください。【図2】参照

4. ハンドルの先をネット巻に差し込み、時計回りに回してネットを張ってください。ハンドルを止めればその位置でブレーキがかかり止まります。【図2】参照

⚠ 反対(反時計回り)に回した場合ストッパーが効かないので絶対に行わないでください。  
強く巻き過ぎますと巻き戻し操作が出来なくなることがあります。戻らない場合は、ハンマー等で叩いて戻し操作を行ってください。

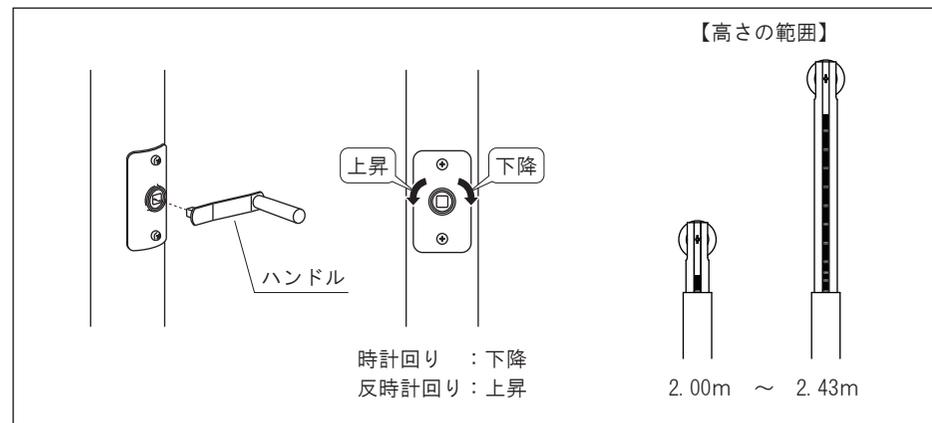
5. 左右支柱の滑車溝の中心とワイヤー(ロープ)が一直線になるように合わせ【図3】参照  
ネット巻ハンドル操作は片手で操作してネットを張ります。両手や足での操作は行わないでください。  
適切な張り具合になりましたらハンドルを外してください。

⚠ ハンドル操作時はネット巻の正面に立って行わないでください。ワイヤー(ロープ)が切れたり滑車から外れて飛び出したり、しなった支柱が急に戻り、けがをする恐れがあります。【図4】参照

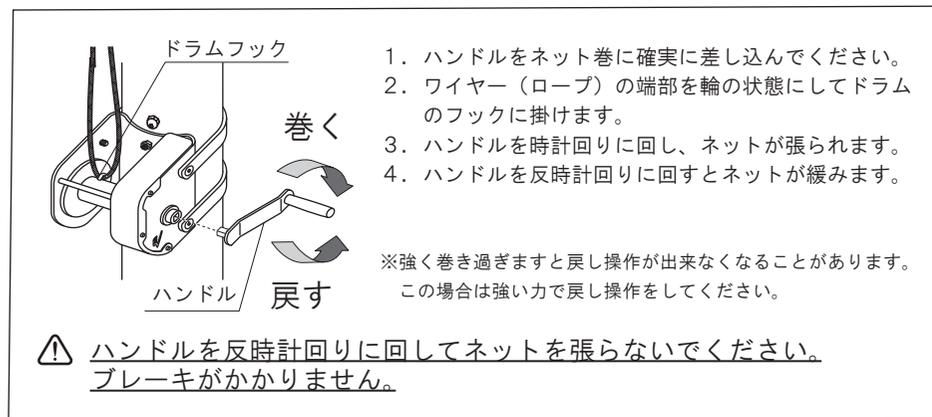
6. 使用後はネットの張りを緩めてワイヤー(ロープ)を外し、支柱の高さを設定されている最低の高さまでゆっくり戻し、その後支柱を埋設管から引き抜いてラック等で保管してください。

⚠ ワイヤー(ロープ)を外す際は、ワイヤー(ロープ)に大きな力がかかっているので十分注意してください。

7. 支柱を抜いた後はけがの予防や異物の混入を避けるため、埋設管に必ず上蓋を被せてください。



【図1】



【図2】



【図3】



【図4】